

令和 8 年度 教育委員会要覧

三春の教育



〈 徳田研山筆勇駒図 〉

三 春 町 教 育 委 員 会

表紙写真：徳田研山筆勇駒図（三春町指定民俗文化財 馬頭観音堂奉納絵馬）

江戸時代から近代にかけての三春周辺は馬の生産が盛んで、各農家が育てた馬が城下の競り市にかけられ、「三春駒」の名で全国に売られていきました。馬の生産者たちはその健康な生育を願って、各所の寺社に絵馬や木馬を奉納し、特に荒町の馬頭観音堂は多くの信仰を集めました。江戸時代後期に三春藩の駒奉行等を務めた徳田氏は、3代にわたって研山と号して馬の絵を描き、藩士や農家から依頼を受けてたくさんの絵馬を奉納しました。

三春町民憲章

- 豊かな自然を愛し、美しい町をつくりましょう。
- 歴史と文化財を大切にし、ゆかしい町をつくりましょう。
- 思いやりのある心を育て、うるおいのある町をつくりましょう。
- スポーツに親しみ、明るい町をつくりましょう。
- 働くことを尊び、活力のある町をつくりましょう。



町章について

町名「三春」の頭文字「み」を円形に図案化しました。円形は「協同」と「団結」を示し、横線は「融和」を、真中の線と空間は「向上発展」を希求する姿をあらわしています。

町の花「松波」



サツキの一品種である「松波」は、美しく可憐な花を咲かせ、町民に親しまれています。

町の木「しだれ桜」



国の天然記念物「滝桜」に代表される「しだれ桜」は町のシンボリック的存在です。

町の鳥「うぐいす」



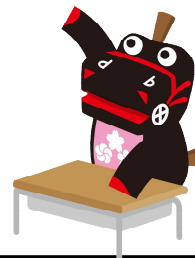
「うぐいす」は三つの春に由来する町名にふさわしい美しい声で鳴く春告げ鳥です。

「三春の教育」グランドデザイン

学び、つながり、未来を拓く三春の教育の創造

「三春の教育」推進の視点

- 1 夢と志をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力の育成
- 3 生涯学び、活躍できる環境の整備
- 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築
- 5 教育施策推進のための基盤整備



子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり

◇学校教育グループ

夢が育つ学校教育の推進

児童生徒が将来の夢に向かって主体的に生きていくことができるように、確かな学力、豊かな心、たくましい心身の「生きる力」をバランス良く育みます。発達段階に応じた学びの充実を図り、児童生徒の一人一人の個性や特性に応じ、可能性を最大限に伸ばす学校教育を推進する。

◇夢をささえる確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革
- 児童・生徒一人一人の学びが保障される環境づくり
- ICTを利活用した学びの充実
- グローバル化社会適応への国際理解教育の充実
- SDGs理解のための教育活動の推進

◇夢を育む豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 三春の伝統・文化の学びを通した郷土愛の育成
- キャリア教育の充実

◇特別支援教育の推進

- インクルーシブ教育の推進
- 特性に応じたきめ細かな支援体制の構築
- 特別支援教育環境を充実する指導・研修体制の充実
- 顔の見える地域支援ネットワーク

◇教職員の資質向上

- 授業における指導力向上にむけた研修の充実
- 児童生徒理解についての教職員等の研修の充実
- 校務DX化による働き方改革

◇一人一人の個性を生かす環境づくり

- 発達支持的、課題予防的な生徒指導の推進
- いじめの未然防止と早期発見・早期対応
- 不登校児童生徒の支援強化
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用
- 教育相談体制、適切な就学支援の充実

◇つながる教育の推進

- 幼保と小学校の連携推進
- 小中連携・中高連携の具体的な取組の推進
- 関係機関と連携した特色ある学校づくり

夢を支える環境づくりの推進

児童生徒一人一人の学びが保障され夢が育つ教育環境となるよう、様々な困難や課題を抱えている児童生徒への支援、保護者や地域との連携による特色ある学校づくり、学校施設・設備の整備や児童生徒の安全・安心の確保などにより、学びのセーフティネットの充実を図る教育環境づくりを推進します。

◇地域と歩む学校づくり

- 地域と家庭と共にある持続可能な学校づくり
- コミュニティ・スクール推進事業の充実
- 地域の教育力を生かした教育活動の推進
- 地区教育懇談会の開催

◇夢をかなえるたくましい心身の育成

- 心身共に健康な体の育成と体力の向上
- 健康教育の充実と健康に関する自己管理能力の育成
- 学校給食の充実と「つながる食育」の推進

◇教育施設の整備

- 子どもの夢を生かした校舎内外環境の工夫
- 施設・設備の計画的な修繕
- 学校図書館の充実
- ICT環境整備と利活用の推進

◇児童・生徒の安全・安心な環境づくり

- 児童・生徒の防犯対策
- 地域・関係機関との連携
- 学校における防災・放射線教育の充実

◇児童生活センター

放課後等の子どもの居場所づくりの推進

児童が放課後等に安心して活動できる居場所づくりを行い、様々な体験活動や交流を通して、心豊かにたくましく、自信と意欲をもって生活ができるよう、保護者、地域及び学校と緊密な連携を図り児童の健全な育成を推進する。

◇放課後児童対策の推進

- 放課後児童対策に係る運営委員会での協議
- 小学校の再編を見据えた子どもの居場所づくりの整備
- 放課後児童クラブの運営の見直し

◇放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)の推進

- わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブの運営
- 児童クラブの特色を生かした活動の実施
- 地域のボランティア等との交流事業の充実

◇放課後子ども教室推進事業

(まほらっこ教室)の推進

- 町内小学校区でのまほらっこ教室の運営
- コーディネーター・ボランティアによる活動支援及び人材確保の推進
- 小学校の再編を見据えた放課後等の居場所づくりの推進

全員参加型の生涯学習ネットワークの構築

◇生涯学習グループ

全ての町民が学び続け活躍できる社会の実現

誰もが「社会に参画する力」「共に生きる力」「つなぐ力」を育み、持続可能なまちづくりのために「全員参加型の生涯学習社会」を目指す。

◇学びたいときにいつでも学べる環境づくり

- 町民のニーズに応じた講座の開催
- 高齢者学級の充実
- 芸術に接する機会の提供
- 生涯学習団体登録と活動への支援
- 成果発表の場の提供
- デジタルを活用した学習環境の整備
- 三春町社会教育委員会の開催
- 三春町生涯学習を進める町民会議の開催
- 文化部活動団体への支援

◇多様な団体との連携と協働の推進

- 三春交流館運営協会と連携した芸術鑑賞
- 三春ダム等と連携した自然環境学習
- 高齢化、環境問題、家庭教育支援、消費者問題等学習機会の提供
- 三春町国際交流協会と連携した国際交流事業
- 三春町青少年問題協議会の開催

◇学習成果を地域の活動に生かす実践機会の促進

- 生涯学習人材ガイドの人材発掘及び利活用推進とボランティア活動への支援
- 生涯学習支援ボランティアの会との連携
- 生涯学習団体や講座等参加者の生涯学習支援者としての参加促進

◇社会体育グループ

スポーツを通したひとづくり

地域社会の中で町民一人ひとりが生涯にわたり、身体的・精神的・社会的に「Well-being」な社会を実現できるよう支援するとともに、いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と環境の充実を図る。

◇社会体育事業の振興、各種スポーツ大会・教室等の充実

- 三春町スポーツ推進委員による社会体育事業推進
- 町民参加型のスポーツ大会・教室の開催
- 体力・健康づくりにつながるスポーツ大会・教室の開催

◇町民のスポーツ振興・拡充推進

- 市町村対抗スポーツ大会参加と競技力向上
- 新たな部活動環境の構築に向けた地域展開の実現
- 三春町体育協会・三春町スポーツ少年団の支援と事業活性化

◇社会体育施設管理運営と利便性向上及び施設の長寿命化

- 社会体育施設管理運営と利用環境の充実
- 学校体育施設の開放事業
- 社会体育施設の長寿命化のための改修工事

◇歴史民俗資料館

・自由民権記念館・郷土人形館・文化伝承館

歴史・文化遺産を継承・活用したまちづくり

地域の歴史・文化遺産を調査し、次の世代に伝えるために保存の措置を講じ、活用を推進するとともに、それらの情報をわかりやすく発信することで町民の文化への関心や生涯学習の意欲を高める支援をする。

◇文化財保護の推進・支援

- 三春町文化財保存活用地域計画の策定・推進
- 文化財調査の推進
- 文化財の保護・活用の推進・支援
- 三春城跡の国史跡指定に向けた調査の推進
- 文化財保護審議会による提言の活用

◇文化財の保存・公開施設の管理運営

- 保存・公開施設の適正な管理運営
- 三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館・三春郷土人形館・三春町文化伝承館などまちなか文化財の活用
- 歴史民俗資料館運営協議会による提言の活用
- 歴史民俗資料館友の会支援

◇展示公開・各種講座・広報活動の充実

- 常設展・企画展の充実
- デジタルミュージアムの推進
- 各種講座・出版物の充実
- 学校教育との連携

◇町民図書館

本に親しみ、学びがあふれる「みんなの図書館」

乳幼児から大人まで、町民の誰もが生涯にわたり豊かな生活を送るための読書活動を支援するとともに、家庭・地域・学校などの関係機関との連携を図り、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。

◇図書館活用推進

- 利用者に親しまれる環境づくり
- 有用図書資料の収集・維持管理
- 広報活動やレファレンスサービスの充実
- 図書館協議会開催と成果、課題の共有

◇利用者サイドに立った図書館運営

- 予約・リクエスト・相互貸借の充実
- インターネット予約・蔵書検索サービス利用推進
- 県立図書館情報ネットワーク活用
- 国立国会図書館総合目録ネットワーク活用
- 電子書籍に関する研究
- 町民図書館のあり方の検討

◇歴史・文化を継承した社会づくり

- 郷土資料・行政資料・参考図書の充実
- 読書習慣・読書意欲向上のための情報提供及びイベントの開催
- 読書活動推進のためのボランティアの育成

◇各地域へのサービス充実

- 学校・施設・ボランティアへの団体貸出し
- 地区交流館図書室の資料の充実

◇学校及びその他の教育施設との連携・学習支援

- 職業体験・図書館見学受入れ推進
- 学校における学習支援のための図書資料等の充実
- 子ども読書活動の推進について

◇保育グループ

就学前保育の基本理念

「子どもの“生きるちから”を育む」

○人間形成にとって極めて大切な時期に、子どもが安全に過ごせるための環境を整備するとともに、関係機関と連携して、一人ひとりを大切にしたい保育を実践する。

目 次

◇ 表紙 写真について	
◇ 三春町民憲章	
◇ 町章について	
◇ 町の花 町の木 町の鳥	
◇ 「三春の教育」グランドデザイン	1

I 三春町教育委員会の概要

1 基 本 理 念	6
2 沿革と教育委員会関係事業の推移	6
3 歴代教育長・委員長	11
4 教 育 委 員	11
5 教育委員会所管の組織構成	12
6 三春町立小・中学校一覧	15
※ 教育課指導の重点	16

II 教 育 課

1 【学校教育グループ】	17
2 学年別児童生徒数一覧	26
3 令和8年度以降入学児童推定表	27
4 学校施設の概要	27
5 学校紹介	
・三春小学校	28
・岩江小学校	29
・御木沢小学校	30
・中妻小学校	31
・中郷小学校	32
・沢石小学校	33
・三春中学校	34
・岩江中学校	35
6 【児童生活センター】	36

Ⅲ 生涯学習課

【生涯学習グループ】	38
【社会体育グループ】	40
【三春町歴史民俗資料館】	43
【三春町民図書館】	45

Ⅳ 子育て支援課

【保育グループ】

○ 基本方針	47
・ 岩江こども園	49
・ 北保育所	50
・ 第1保育所	51
・ 第2保育所	52
◇ 三春町民の歌	

I 三春町教育委員会の概要

1 基本理念

『学び、つながり、未来を拓く三春の教育の創造』

グローバル化社会の進展、少子高齢化社会の進行など、三春町を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭・学校・地域が連携し、確かな学力を育み、豊かな情操や道徳性を養い人格の完成を目指すなど、未来を担う子どもたちに生きる力を育む教育の推進や町民一人一人が生涯を通じて、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を地域に生かすことができる生涯に渡る学びの環境づくりを目指す。

一人一人の成長が、家庭・地域・職場等社会全体で支えられ、一人一人のよさが様々な場で発揮され、自らの知識や経験を生かしながら関わり合うことができるようなつながりを大切にし、地域課題解決のために地域社会全体で支え合う関係づくりを進める。

人づくりをまちづくりの基本ととらえ、新たな価値を創造し、豊かな未来を創り上げる「三春の教育」を推進する。

基本理念の実現のため、学校教育、生涯学習の2つの分野ごとに基本目標を設定し、各種施策を展開し、「三春の教育」を目指す。

学校教育	子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり
------	----------------------

三春に暮らす児童・生徒一人一人に、自己の将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては国際社会に貢献できる人材に育つよう支援する。

生涯学習	全員参加型の生涯学習ネットワークの構築
------	---------------------

誰もが生涯を通して学び続け、活躍できる社会の実現を目指す取組として、町民それぞれが自ら「学ぶ機会」を提供し、その成果を生かすことができる「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を支援する。

2 沿革と教育委員会関係事業の推移

年	月	事	業
昭和30.	4	合併により三春町誕生	
30.	5	沢石中学校屋内体育館新築 (300.33㎡)	中郷中学校屋内体育館新築 (557㎡)
32.	5	沢石中学校屋内運動場完成	
35.	3	三春中学校屋内体育館新築 (1,333㎡)	
36.	2	中郷小学校新校舎増築 (1,178㎡)	
36.	7	町営清水プール完成 (25m×16m)	
37.	3	中郷小学校貝山分校廃校 同地域は三春小学校区となる	
38.	4	岩江中学校を廃し三春中学校に統合 岩江小学校発足(旧岩江中校舎使用)	
39.	3	岩江小学校新築 (1,332㎡)	

年 月	事 業
昭和40. 1	中郷中・中妻小増改築工事完成
40. 2	三春中学校火災により大部分焼失
40. 11	三春中学校校舎新築 (3,473㎡)
41. 12	中妻中学校屋内体育館新築 (584㎡)
43. 4	三春小学校校舎改築第1期工事完成 (1,907㎡)
44. 4	三春小学校校舎改築第2期工事完成 (1,678㎡)
45. 4	三春小学校校舎改築第3期工事完成 (1,598㎡)
46. 6	三春町公民館建築 (1,318㎡) 町営グラウンド完成 (19,704㎡)
46. 12	岩江小学校屋内体育館新築 (403㎡)
47. 3	沢石小学校新築 (1,406㎡) 三春町武道館新築 (433.6㎡)
47. 9	町営貝山プール完成 (25m×16m)
48. 3	御木沢小学校新築 (1,377㎡)
48. 4	沢石小中学校共同調理場新設 沢石児童館新築完成 (229㎡)
	三春町史編さん開始
48. 7	中郷小中学校プール完成 沢石小中学校プール完成
49. 3	御木沢小学校屋内体育館新築 (412㎡) 町営野球場第1期工事完成
49. 4	岩江幼稚園新築開園 (229㎡)
49. 9	御木沢小学校プール完成
49. 10	中妻中学校プール完成
50. 3	町営野球場第2期工事完成
50. 11	三春町史刊行「近代1」第1回配本
52. 3	町営体育館敷地完成
52. 4	中妻小学校・鷹巣小学校を統合し中妻小学校を新築 (1,506㎡)
	米飯自校炊飯方式による一部米飯給食を中妻小学校で実施 組合立要田小学校校舎完成 (1,769㎡)
53. 3	町民体育館新築 (2,200㎡) オープン (6月)
53. 8	岩江小学校プール完成
54. 1	中妻小学校屋内体育館完成 (590㎡)
54. 3	組合立要田小学校屋内体育館完成 (590㎡)
54. 6	町営野球場完成 オープン
54. 8	中妻小学校プール完成
55. 3	三春小学校屋内体育館改築完成 (1,493㎡)
55. 12	岩江幼稚園増築完成 (159㎡) 町営テニスコート完成 (4コート)
56. 3	沢石小学校屋内体育館完成 (609㎡)
56. 4	学校組合立要田幼稚園 (小学校併設) 開設
56. 8	三春小学校プール完成
57. 3	歴史民俗資料館新築完成 (1,248.13㎡)
58. 4	歴史民俗資料館開館
60. 3	岩江小学校新校舎完成 (2,616㎡)
61. 3	三春町史第11巻刊行(全11巻完成)三春中学校第2グラウンド完成
61. 4	学校教育課・社会教育課の2課となる 英語教育助手を配置する
61. 7	三春中学校プール完成(上屋付) 学校教育課・社会教育課・文化課の3課となる
62. 11	岩江小学校校舎増築完成(低学年棟 339㎡)
63. 9	三春中学校大規模改造工事完成(61年度～63年度実施)
63. 10	町営テニスコート夜間照明完成
平成元. 10	三春小学校大規模改造工事(第1期工事)完成(3年継続)
2. 2	町営野球場夜間照明完成
2. 3	中郷小学校校舎(2,386㎡)屋内体育館(896㎡)移転完成 中郷公民館(370㎡) 中郷幼稚園(415㎡)新築完成
2. 4	三春郷土人形館開館

2.	5	統合中学校名：桜中学校と決定
平成2.	7	町民図書館開館
2.	8	中郷小学校プール完成 三春小学校大規模改造工事（第2期）完成
3.	2	桜中学校校舎完成（3,300㎡）
3.	3	中郷中学校・中妻中学校廃校 中郷小学校狐田分校廃校
3.	4	桜中学校開校 桜中学校屋内体育館完成（961㎡）
3.	4	町営北体育館新築落成
3.	6	三春北体育館新築開館（1,032㎡）
3.	7	学校組合立要田中学校校舎完成 校舎（2,065㎡）屋体（903㎡）
3.	9	三春小学校大規模改造工事完成（第3期）（元年度～3年度実施）
3.	10	桜中学校屋外プール完成
4.	3	沢石中学校新校舎完成（2,176㎡） 中妻地区公民館完成（368㎡） 学校組合立要田中学校屋外プール完成
4.	11	沢石中学校屋内体育館完成（1,118㎡ 内クラブハウス137㎡）
4.	12	岩江小学校第2期増築工事完成（699㎡）
5.	3	岩江幼稚園新園舎完成（443㎡） 岩江地区集会施設完成（541㎡） 国際交流館 ライスレイクの家完成（253.04㎡） 運動公園談話室完成（357.02㎡）
6.	3	沢石中学校屋外教育環境整備事業（語らいの広場）完成
6.	12	岩江中学校校舎完成（3,067㎡）
7.	1	町民図書館移転（530㎡）
7.	3	公民館改築工事完了 岩江中学校屋内体育館完成（1,179㎡ 内クラブハウス 155㎡） 学校組合立要田小学校北成田分校廃校 中央児童館新築完成（238.75 ㎡）
7.	4	岩江中学校開校（三春中学校より2年・3年生分離移籍）
7.	8	全国個性化教育研究連盟研修（当町を会場に開催）
7.	9	岩江中学校プール完成
7.	10	第50回国民体育大会アーチェリー競技開催
7.	11	福島大学日中米学術交流三春会議開催
8.	4	社会教育課を生涯学習課と改称
8.	12	岩江小学校校舎第3期増築完成（743㎡ 教室3他）
9.	4	児童生活センターが教育委員会所管となる
10.	3	岩江中学校校舎増築完成（252㎡ 教室2，技術・美術室）
10.	4	機構改革により事務局組織を改編（学校教育課・生涯学習課・歴史民俗資料館・ 図書館・児童生活センター・幼育センターの2課4所体制に） 岩江小学校屋内体育館改築完成（1,221㎡）
10.	10	三春町文化伝承館開館
11.	1	沢石小中学校プール完成
11.	7	岩江児童クラブ開設
11.	8	田村大元神社金剛力士像（文化財）を修復
12.	3	岩江幼稚園増築（63㎡）
12.	6	公立学校施設表彰のまちづくり・地域連携部門で文部大臣賞を受ける
12.	8	教育長を全国公募（応募総数503人）
13.	3	三春町・船引町学校組合解散
13.	4	機構改革により事務局組織を改編（庶務・学校教育・生涯学習・歴史民俗資料 館・児童生活援助・町民図書館・自然観察ステーション・幼児教育の各担当）
15.	4	町民センター新築完成 三春交流館「まほら」と命名
15.	10	小学校英語教育助手を設置
16.	4	機構改革により事務局組織を改編 教育課－学校教育グループ・幼児教育グループ・児童館・保育所・幼稚園 生涯学習課－交流館・歴史民俗資料館・町民体育館・町民図書館・自然観察 ステーション
17.	3	三春中学校屋内体育館改築（1,254㎡）
17.	4	三春小学校が「コミュニティ・スクール事業」で東北地方初の文部科学省の指

平成18.	2	定校に選出さる（平成17・18年度）
18.	3	日本建築学会、文部科学省主催の「みんなの学校をながく・よく使い続けるためのセミナー」－福島県三春町の取り組み－を「まほら」で開催（全国3カ所）
18.	8	北保育所新築(266.6㎡)4月開所 沢石児童館閉館
19.	5	三春町学校等の施設整備検討委員会設置
19.	11	三春町学校等の施設整備検討委員会から答申がなされる
20.	1	上記答申に対する教育委員会の「中学校再編検討報告書」を町長に提出
20.	4	中学校再編職員検討委員会を設置(委員長：副町長・教育長・全課長で構成)
20.	7	沢石共同調理場(沢石小・沢石中・要田中へ配送) さくら共同調理場(中郷小・中妻小・桜中・中郷幼稚園へ配送)を設置し調理業務を民間委託
20.	7	「中学校再編説明会」を各地区で実施(20.12 全地区から了承を得る)
21.	3	滝桜樹勢回復作業実施(枯枝せん定等)
21.	4	町営三春北体育館を御木沢小学校屋内運動場に転用
22.	2	中学校再編に関する教育懇談会を関係各地区で開催
22.	2	三春小学校階段室耐震補強工事完了
22.	3	御木沢地区公民館耐震補強・屋上防水工事完了
22.	3	三春町武道館仮設移転工事完了
22.	4	要田交流館を勤労福祉センター大平荘に移設し要田交流館大平荘に改称
22.	4	三春小学校に発達障害の指導支援を行う ADHD 通級指導教室を設置する
22.	5	町営テニスコートを全面砂入り人工芝コートに改修
22.	7	新三春中学校開校準備委員会を設置
23.	1	三春町キャリア教育実行委員会がキャリア教育充実の功績により文部科学大臣表彰を受ける
23.	3	東日本大震災発生(3.11 PM 2:46)(東京電力福島第1原子力発電所事故)
23.	7	町営貝山プール全面改修
24.	3	要田交流館大平荘耐震補強工事完了
24.	3	保育所・幼稚園・小学校・中学校全施設の教室等にエアコン設置
24.	12	新「三春中学校」校舎完成(10,410㎡)
25.	3	三春中学校・桜中学校・沢石中学校・要田中学校閉校
25.	4	新「三春中学校」開校
25.	4	特別支援教育相談員を配置
25.	8	三春小学校耐震補強大規模改造工事着手
25.	8	沢石小学校が旧沢石中学校へ移動
25.	11	三春小学校 第44回博報賞「特別支援教育部門」受賞 併せて「文部科学大臣奨励賞」受賞
26.	1	中郷地区交流館増築工事(集会室52㎡)
26.	3	滝桜樹勢回復事業実施(枯枝せん定, 保護柵拡張等)
26.	4	文科省指定インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業(スクールクラスター)実施(H26～27)
26.	7	三春小学校耐震補強大規模改造工事完了
26.	9	三春中学校の全教室にエアコン設置
26.	9	岩江小・中郷小・岩江中学校屋上防水工事
26.	10	全小・中学校へ学校運営協議会設置(25年三春中・中郷小 26年岩江小中・御木沢小・中妻小・沢石小)
27.	4	児童クラブ(3)とまほらっこ教室(3)の拡充により要田地区を除くすべての地区で平日は午後6時まで 長期休業中も小学生を預かる体制を整備
27.	4	文科省指定スーパー食育スクール事業実施(三春中学校)(～H28)
27.	5	中郷小学校大・小プールろ過装置改修工事
27.	9	中妻小学校体育館天井改修工事
27.	11	第1回三春町総合教育会議開催
28.	3	中妻小屋外トイレ設置工事
28.	3	御木沢小屋外トイレ設置及び倉庫設置工事
28.	4	スクールソーシャルワーカーを配置

28.	4	児童生活センターが三春小学校西校舎1階へ移動
28.	9	御木沢小屋上防水工事
28.	9	幼・保・小全施設でフッ化物洗口事業開始
28.	10	三春郷土人形館屋根修繕工事
28.	12	歴史民俗資料館屋根修繕工事
29.	3	中央児童館閉館
29.	4	姉妹都市締結30周年記念事業 親善訪問団受入
29.	6	姉妹都市締結30周年記念事業 親善訪問団派遣
29.	9	三春小屋上防水改修工事
29.	12	沢石小屋根改修工事
30.	3	姉妹都市締結30周年記念事業 滝桜子孫樹贈呈派遣
30.	4	児童クラブ土曜開設日の集約
30.	10	旧三春中学校体育館改修工事
30.	11	三春町民第2体育館開設
30.	12	岩江小学校外壁改修工事
令和	元. 8	三春小学校体育館床改修工事
	元. 9	岩江小学校外壁改修及び屋根防水改修工事
	2. 3	新型コロナウイルス感染症防止のための小中学校臨時休業(R2.3.4~3.23)
	2. 4	新型コロナウイルス感染症防止のための小中学校臨時休業(R2.4.21~5.19)
	2. 7~11	学校教育アドバイザー訪問(7回)
	2. 9~10	地区教育懇談会(7地区)
	2. 12	小中学校8校に無線LANネットワーク環境を整備(GIGAスクール構想)
	3. 1	小中学校8校の各教室に電子黒板を導入(GIGAスクール構想)
	3. 3	小中学校8校の全校児童生徒及び教職員に1人1台タブレットを導入(GIGAスクール構想)
	3. 4	三春町第1期教育大綱策定
	3. 5	三春町役場新庁舎開庁
3. 5~4.	3	学校教育アドバイザー訪問(15回)
	4. 8	学びの支援センター『あこがれ教室』開校
4. 9~4.	12	新型コロナウイルス感染症に伴う学級閉鎖(三春中学校を除く小学校6校、中学校1校)
	5. 3	御木沢小学校校舎増改築工事完了
	5. 3	三春小・御木沢小・中妻小・中郷小・沢石小学校トイレ洋式化工事完了
4. 4~5.	3	GIGAスクール構想電子黒板購入・タブレット端末保守・ICT支援員業務委託
	5. 4	三春小学校の通学区域に熊耳・南成田・北成田・庄司を追加
	5. 6	三春小学校校舎災害復旧工事完了
	5. 8	第1回こども議会開催
5. 4~	6. 3	タブレット学習「スタディサプリ」導入
	5. 8~	町内全世帯対象に「三春町立小学校教育のあり方」についてのアンケート実施
5. 10~12		アンケート結果について各学校運営協議会にて説明・意見交換会の開催
	5. 10	御木沢小学校体育館屋根及び外壁改修工事完了
	5. 10	沢石小学校体育館屋根及び外壁改修工事完了
6. 1~	2	「三春町立小学校教育のあり方」に関する地区別教育懇談会開催
	6. 1	三春中学校校舎及び体育館LED改修工事完了
	6. 3	「三春町立小学校教育のあり方」に関する各地区学校運営協議会代表者会議開催
	6. 4	多子世帯学校給食費助成開始
	6. 5	「三春町立小学校教育のあり方」に関する「基本方針(案)」策定
	6. 6	「三春町立小学校教育のあり方」に関する各地区学校運営協議会代表者会議開催
	6. 8	第2回こども議会開催
6. 6~11		「三春町立小学校教育のあり方」に関する「基本方針(案)」の各地区説明会の開催
	7. 1・2	「三春町立小学校教育のあり方」に関する各地区学校運営協議会代表者会議開催
	7. 3	岩江中学校校舎及び体育館LED改修工事完了
	7. 4	「三春町立小学校教育のあり方」に関する学校再編方針決定(6校→3校)
		令和9年4月 中妻小・中郷小→三春小 令和10年4月 沢石小→御木沢小

7. 4	岩江小→現状維持
7. 11	三春町第Ⅱ期教育大綱策定
7. 11	岩江小学校体育館外壁改修工事完了
7. 12	御木沢小学校校舎及び体育館 LED 改修工事完了
7. 12	小中学校 8 校の全校児童生徒及び教職員に 1 人 1 台タブレット入れ替え (Chromebook)
8. 1	旧岩江幼稚園を岩江児童クラブ施設とする用途変更工事完了
8. 1	御木沢小学校体育館校舎及び外壁改修工事完了
8. 1	三春中学校体育館東側外壁改修工事完了
8. 1	岩江児童クラブの運営場所を岩江センターから岩江児童クラブ施設へ移転

3 歴代教育長・委員長

(1) 教 育 長

歴 代 教 育 長	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	備 考
大 谷 研 明	昭和 30. 10. 1	昭和 42. 6. 30	辞任
橋 本 篤 世	42. 7. 1	49. 9. 30	辞任
加 藤 文 富	49. 10. 1	55. 9. 30	
武 藤 義 男	55. 10. 1	平成 2. 3. 31	辞任
本 田 忠 治	平成 2. 4. 1	12. 9. 30	
前 田 昌 徹	12. 11. 1	16. 2. 29	辞任 (全国公募)
橋 本 弘	16. 3. 1	23. 3. 31	辞任
遠 藤 真 弘	23. 4. 1	28. 10. 31	
高 橋 正 美	28. 11. 1	令和 元. 10. 31	
添 田 直 彦	令和 元. 11. 1	7. 10. 31	
渡 辺 和 也	7. 11. 25		現職

(2) 委 員 長

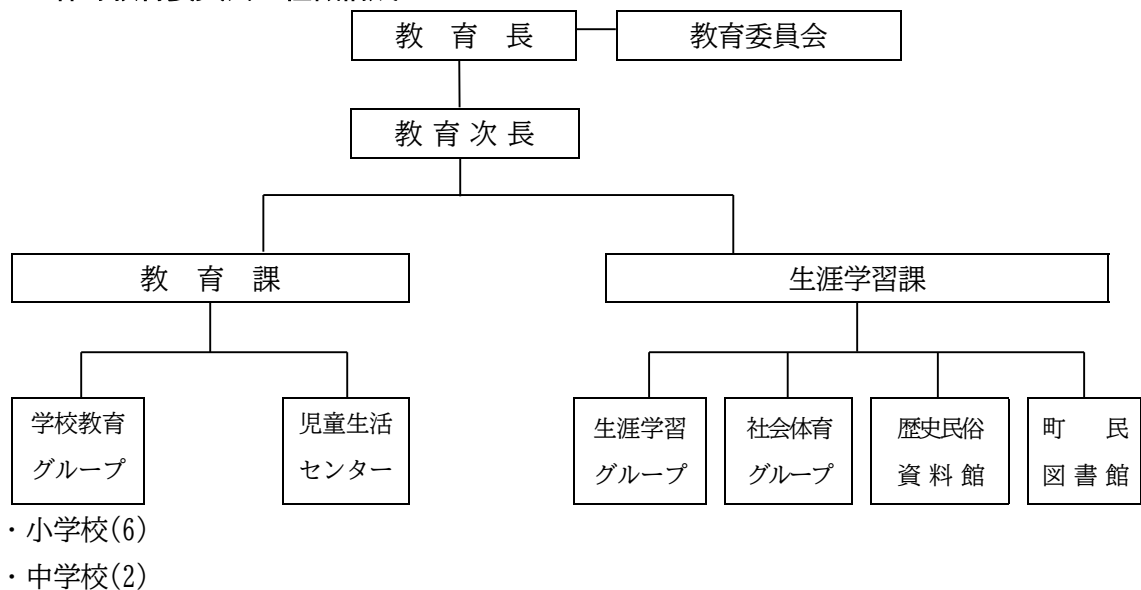
千 葉 正 己	昭和 30. 10. 1	昭和 33. 6. 6	死亡により
緒 方 政 次	33. 10. 1	37. 9. 30	
川 又 恒 一	37. 10. 1	57. 9. 30	
山 田 静 夫	57. 10. 1	平成 2. 9. 30	
大 内 一 廣	平成 2. 10. 1	3. 3. 31	辞任
金 井 彌 太 郎	3. 10. 1	9. 9. 30	辞任
佐 久 間 藤 人	9. 10. 1	11. 9. 30	
深 谷 信 吾	11. 10. 1	22. 9. 30	
武 地 優 子	22. 10. 1	28. 10. 31	(委員長制度廃止)

4 教 育 委 員

職	氏 名	任 期
教育長職務代理者	太 田 文 枝	令和元. 10. 1～令和9. 9. 30
委 員	宗 像 俊 樹	平成24. 10. 1～令和10. 9. 30
委 員	菊 地 和 裕	令和3. 10. 1～令和11. 9. 30
委 員	草 野 エ リ	令和4. 10. 1～令和12. 9. 30

5 教育委員会所管の組織構成

(1) 三春町教育委員会の組織構成



(2) 課・グループ名等と業務概要並びに所管施設名

課名	グループ名等	担当内容	所在地	電話番号
教 育 課	学校教育グループ	小中学校の運営，教職員の研修・学習指導，学校施設整備・管理，就学・就学援助，学校保健，学校給食	字大町 1-2	0247-62-6310
	児童生活センター	児童生活センター管理運営	字大町 157 (三春小内)	0247-62-8666
生涯学習課	生涯学習グループ	生涯学習の推進，文化芸術活動振興，交流館管理運営	字大町 191	0247-62-3837
	社会体育グループ	社会体育事業の企画・振興	字大町 191	0247-62-3837
	歴史民俗資料館	資料館・記念館・郷土人形館・文化伝承館管理運営	字桜谷 5	0247-62-5263
	町民図書館	図書館管理運営	字大町 12-1	0247-62-3375

生涯学習課施設一覧

施 設 名	所 在 地	電 話 番 号	所 管
三春交流館「まほら」	字大町 191	0247-62-3837	生涯学習グループ
中妻地区公民館	大字鷹巣字大日向 13	0247-62-1181	//
御木沢地区公民館	大字平沢字東 333-2	0247-62-8471	//
中郷地区交流館	大字柴原字神久保 235-1	0247-62-6125	//
沢石会館	大字実沢字櫓梨 215-5	0247-62-8472	//
要田交流館大平荘	大字熊耳字大平 1	0247-62-6472	//
岩江センター	大字下舞木字岩本 278-1	024-942-0092	//
国際交流館「ライスレイクの家」	字南町 84	0247-62-5800	//
さくら湖自然観察ステーション	大字西方字石畑 270-1	0247-61-1546	//
町民体育館	大字貝山字泉沢 100	0247-62-6212	社会体育グループ
町営運動場	大字貝山字泉沢 100		//
町営野球場	大字貝山字泉沢 100		//
町営テニスコート	大字貝山字泉沢 100		//
町営貝山プール	大字貝山字泉沢 100		//
貝山ランニングロード	大字貝山字泉沢 100		//
運動公園談話室	大字貝山字泉沢 100		//
町営ボート場	大字蛇沢字蛇沢 296-1		//
町民第2体育館	字日向町 67	0247-62-3180	//
歴史民俗資料館	字桜谷 5	0247-62-5263	歴史民俗資料館
郷土人形館	字大町 30	0247-62-7053	//
文化伝承館	字大町 82	0247-62-7711	//
町民図書館	字大町 12- 1	0247-62-3375	町民図書館

(3) 職 員

課	グ ル ー プ	職 ・ 氏 名		
教 育 課	教育次長兼教育課長	藤井 康		
	学校教育グループ			
	主任主査兼グループ長	橋本 和宜		
	主幹兼指導主事	吉田 正一	主 査	富永 彩乃
	主任主査	松崎 理香	主 事	渡邊 小太郎
	指導主事	遠藤 俊一	指導主事	今井 不二子
	指導主事	庄司 康生		
	スクールソーシャルワーカー	村上 有理香	英語教育助手(小学校)	D・R・ティート・サンタレ
	英語教育助手(中学校)	ジミー・ジャン・リー		
	三春町児童生活センター			
	総括主幹兼所長	鈴木 ひろ子		
	主任主査	伊本 絵里	主 査	菅野 ひかり
	主 査	柳田 知美	主 査	枘野 成美

課	グ ル ー プ	職 ・ 氏 名		
生涯学習課	生涯学習課長	伊藤 晴之		
	生涯学習グループ			
	主幹兼グループ長	宗像 久美子		
	主 事	渡辺 フミヤ	主 事	高畑 健太
	主 事	高橋 ほの香	指導主事	猪狩 仁
	社会体育グループ			
	主幹兼グループ長 兼町民体育館長	松崎 俊介		
	主 査	本田 圭佑	主 事	小川 諒
	指導主事	下重 庄三		
	三春町歴史民俗資料館			
	総括主幹兼館長	平田 禎文		
	主 査	杉原 美里	主 査	西 宏恵
	主 査	富塚 俊樹		
	三春町民図書館			
	総括主幹兼館長	佐久間 久美		
主 幹	七海 由香里	主任主査	本間 徹	

6 三春町立小・中学校一覧

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	学 校 施 設 の 概 要
三 春 小 学 校	字大町 157	0247-62-3101	H 元～3 大規模改修工事 H25～H26 耐震補強大規模改造工事
岩 江 小 学 校	大字上舞木字大谷ツ 24	024-956-2120	S60 オープンスペースで新設
御 木 沢 小 学 校	字樋ノ口 111	0247-62-3368	S48 鉄筋 2 階建ての校舎新設 R 5 校舎増改築工事
中 妻 小 学 校	大字沼沢字神ノ上 139	0247-62-3246	S52 鉄筋 2 階建ての校舎新設
中 郷 小 学 校	大字柴原字神久保 235	0247-62-3091	H 2 オープンスペースで新設
沢 石 小 学 校	大字富沢字石田 68	0247-62-3725	H 4 教科教室型で新設
三 春 中 学 校	大字貝山字泉沢 100-4	0247-62-2181	H25 教科教室型で新設 三春中学校・桜中学校・沢石中学校・要田中学校統合再編
岩 江 中 学 校	大字上舞木字向田 53	0247-62-8290	H 7 教科教室型で新設

※ その他学校関連施設：沢石共同調理場(旧沢石小併設)，さくら共同調理場(中郷小併設)

子どもの夢づくり

楽しさと喜びのある学びを、自らの意思で選択し、希望と喜びあふれる生き方『夢』の実現を目指す

Ⅱ 夢を育む豊かな心の育成

- 自分を理解し、豊かな心を育む道徳教育
- “ゆかしい” まち三春を誇りに思うふさと学習
- 健全な職業観や社会性を育むキャリア教育の充実
- ① 自己肯定感を高め、自分らしい生き方を実現する、認め、励ます教育
- ② 考え、議論する道徳の授業による豊かな心の育成、道徳実践力の伸長
- ③ 三春の伝統、文化の学びを通した郷土愛の育成
- ④ 感謝の気持ちを持ち地域や社会の一員として生きる職業観や社会性の伸長

Ⅳ 特別支援教育の推進

- 共生社会を実現する『チーム』による特別支援教育
- 個に応じた教育のための研修体制の充実
- 社会的自立をめざすつながる教育の確立
- ① 『共に学び、共に生きる』社会をめざすインクルーシブ教育システム
- ② 社会的自立を目指す個別的教育支援・指導計画の活用
- ③ 教職員の資質向上につながる特別支援教育研修体制の充実
- ④ 地域がつながる支援ネットワークづくり
- ⑤ 一人一人の資質・能力を最大限に伸ばす適切な就学支援

I 夢をささえる確かな学力の育成

- 創造的な教育観に立った夢を育む授業づくり
- 主体的に学び合い、聴き合う活動を中心とした協同的な学び
- 一人一人の学力向上を保障する個に応じた学び
- ① 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- ② 夢や目標を持ち、学び続ける意欲の向上を図る支援の継続
- ③ 学びづくりサポーター、コーディネーターによる研修内容の充実
- ④ 児童生徒の学力の実態をとらえた学力向上推進策の実施
- ⑤ 発信力・コミュニケーション力を育む外国語教育・国際理解教育プログラム
- ⑥ 教育効果をふまえたICTの活用

学校教育の基本方針

三春に暮らす児童・生徒一人一人に、自己の将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては国際社会に貢献できる人材に育つよう支援する。

子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり
～子どもが学び、教師が支える授業の創造～

V 一人一人の個性を生かす環境づくり

- 発達支持的な生徒指導の推進
- いじめの未然防止と早期発見・早期対応、人権意識の向上
- 不登校児童生徒への個に応じた支援の強化
- ① 高い人権意識と思いやり、あいさつを大切にしたい集団づくり
- ② いじめの早期発見と偏見や差別、いじめを許さない環境づくり
- ③ 安心して学べる、個に応じた校内の居場所づくり
- ④ SC、SSW、スクールロイヤーと連携した教育相談体制
- ⑤ 学びの支援センター『あこがれ教室』での学びの場の提供

教師の夢づくり

『専門性』向上のために自己研さんを続け、子どもと共に教師としての夢の実現を目指す

Ⅲ 夢をかなえるたくましい心身の育成

- 心身の健康を支える自己理解・自己管理能力の育成
- 生涯にわたり健康生活を支える健康・体力向上教育
- 心身の健康や地域を支える「つながる食育」の推進
- ① 『自分手帳』による健康レジリエンス
- ② 心身の健康と体力向上を図る体育・保健指導
- ③ 危機を予測し、回避できる危機管理・回避能力、交通事故防止
- ④ 郷土を愛し、感謝し、食べる力を育む『つながる食育』
- ⑤ 睡眠時間の確保などにより心の安定を図る生活習慣指導

Ⅵ つながる教育の推進

- 幼保と小学校の連携推進
- 小中連携・中高連携の具体的な取組の推進
- 関係機関との連携・共同による特色ある学校づくり
- ① アプローチプログラム、スタートカリキュラムの充実
- ② 小・中連携による「中1ギャップ」の解消
- ③ 田村高校出前授業等による小・中・高連携強化
- ④ 小・小連携、中・中連携による教育活動の充実
- ⑤ 地域の実態に応じた地域の人材との相互交流の充実

夢を支える環境づくり①

～教職員の資質向上～

- ・子どもを見る教師の目を育む研究の充実
- ・児童生徒理解についての研修の充実
- ・校務DXによる教員の業務の精選と効率化
- ・創造的な教育活動を推進する学校教育研究委員会の運営

夢を支える環境づくり②

～地域と歩む学校づくり～

- ・地域と共にある学校づくり
- ・学校運営協議会による地域との連携の充実
- ・地域の教育力を生かした教育活動の推進
- ・地区懇談会の開催による情報の共有

夢を支える環境づくり③

～教育施設の整備～

- ・子どもの夢を生かした校舎内外環境の工夫
- ・施設・設備の計画的な修繕
- ・読書への興味を高める学校図書館の活用
- ・ICT環境整備と利活用の推進、ICT支援員によるICT環境づくり

夢を支える環境づくり④

～安全・安心な環境づくり～

- ・児童・生徒の防犯対策、学校事故防止
- ・地域・関係機関との連携
- ・防災・放射線教育の充実
- ・SNSなどの依存しすぎない、正しい情報選択と活用ができるメディアリテラシー教育

Ⅱ 教育課

学校教育グループ

1 夢を支える環境づくり・夢が育つ学校教育の推進

(1) 地域と歩む学校づくり

① コミュニティ・スクール推進事業の充実

すべての学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会のさらなる活性化・機能化させ、地域との連携のよりよい充実を図ると共に委員の研修にも取り組み、地域に開かれた学校づくりを目指す。

② 地域の教育力を生かした教育活動の推進

教育ボランティアの積極的な活用を図ると共に、三春町学校運営協議会規則に基づいた学校運営協議会の充実を図る。また、地域の協力・支援を受け、キャリア教育の一環として職場訪問・職場体験等の教育活動の充実や児童生徒の安全・安心な環境の確保を図る。

③ 地域住民の教育参加推進

地域社会に内在する教育機能を活用した特色ある学校づくりと住民参加による教育ボランティアの積極的な活用を図り、地域に開かれた学校づくりを目指す。

④ 地区教育懇談会の実施

学校教育のあり方に関する地区懇談会の開催をはじめとし、地域の現状や要望に基づき、各小中学校の現状、児童生徒数の変化、特別支援教育、複式学級の現状等について共有し、地域住民の考えに寄り添い、共に考える機会を設ける。地区の教育に関する意見・要望等を把握し、町当局との連携の下「三春の教育」を推進する。



稲刈り（総合的な学習の時間）【御木沢小】

(2) 夢をかなえるたくましい心身の育成

① 健康教育の充実と健康に関する自己管理能力の育成

自分手帳等を活用し、自身の情報を継続して記録・累積することで、健康レジリエンスを高め、健康に関する自己理解・自己管理能力の育成につなげる。

また、健康な生活のためのよりよい生活リズムの形成、様々な感染防止対策やう歯（ムシ歯）予防のための取組などについて、その意義や必要性を実感できるよう努める。

② 学校給食の充実と「つながる食育」の推進

安全な地元産食材による給食の提供、食育の推進などに配慮し、各給食施設の充実・改善を進める。各給食施設のあり方について検討を加え、全ての児童生徒が充実した給食の提供を受けられるように支援する。児童生徒の食物アレルギー調査を各学校において定期的に行い、保護者との情報共有の下、個別の対応が確実にされるよう努める。



食育講座【岩江中】

また、町内栄養教諭、栄養士を中心に、家庭・地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、学校における実践的な食育や保護者との協同による「つながる食育」を推進し、その取組を町内すべての小中学校で共有できるよう努める。学校における食育の推進・充実を図るため、食生活と個々の健康課題に応じた食育の実践を推進する。

(3) 教育施設の整備

① 子どもの夢を生かした校舎内外環境の工夫

教師と児童生徒のふれあいが図られ、児童生徒の感性が豊かに育ち、相互の交流がより促進できるようオープンスペースや教科教室型学校施設の効果的な活用を推進する。

また、児童生徒の学習効果を高め、主体的に知識や技能を身につけることができるよう、学習指導要領に沿った授業展開をするため必要な教材・備品等を整備する。

② 施設・設備の計画的な修繕・更新

児童生徒が安全・安心で快適な学校生活を送ることができるよう、校舎や屋内運動場などの施設の長寿命化のための改築等、全小中学校の整備を計画的に進める。

学校との適切な連携のもとに、校舎の保守点検とよりよい教育環境の整備に向けた取り組みを進める。さらに、学校の主体的な維持・管理への支援を進める。

③ 学校図書館の充実

児童生徒の読書活動の推進、読書の習慣化のための学校図書館の活用に努める。また、学習・情報センターとしての学校図書館の環境整備を積極的に行い、機能向上を図る。

学校司書の配置を進め、町民図書館との連携を図りながら学校図書館の充実を図る。

④ G I G Aスクール構想による I C Tの環境整備と活用

学校 I C T環境整備事業「G I G Aスクール構想」のもと、電子黒板整備、デジタル教科書導入、端末の整備、タブレットドリルの導入、フィルタリング等のセキュリティ対策を進め、I C Tリテラシー育成のための環境づくりを推進する。パソコン、タブレット端末、電子黒板などの機器を一体的に活用できるよう整備・充実を促進する。



沢石小とのオンライン交流学习【中妻小】

(4) 児童生徒の安全・安心な環境づくり

① 児童生徒の防犯対策

通学路にある危険箇所の情報を保護者・地域と共有し、児童生徒の生活環境、通学環境等の実態に応じた安全教育を推進する。

また、不審者による声かけ事案等の対応に努め、児童生徒の安全・安心の実現を図る。

② 地域・関係機関との連携

学校運営協議会やまちづくり協会との連携により、地域における児童生徒の安全な環境づくりを推進する。



地域交通安全教室【沢石小】

また、地域の危険箇所マップ、ハザードマップ等の活用を図り、気候変動による異常気象や自然環境の変化に敏感に反応し、自分の身を自分で守る自己管理能力の育成につなげる。

③ 防災教育の推進

様々な自然災害の発生状況をふまえ、学校における防災教育を充実させる。各種避難訓練を計画的に実施すると共に、学級活動の時間を最大限に活用し地球温暖化の影響として懸念される異常気象や高温多湿の環境への対応等、児童生徒の発達段階や地域特性に伴う多面的な防災教育を推進し、自他の生命を守るための学習を充実させる。

④ 学校における放射線教育の推進

校庭等の空間放射線量測定、学校給食使用食材と給食まるごと放射性物質測定、地下水・プール水放射性物質測定を実施し、児童生徒の安全の確保に努める。

各学校の発達段階に応じて放射線教育を位置づけ、児童生徒の放射線に対する理解を深めると共に、福島県環境創造センターを活用した放射線学習に取り組む。

(5) 夢を支える確かな学力の育成

① 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革

一人一人の学力向上を保障する授業を実現するために、小グループやペア活動を取り入れた協同的な学びや他者とのコミュニケーションによる学びで、学力向上や人間関係づくりを目的とした授業改革に取り組み、児童生徒に生きる力を育むことを目指す。



ペア学習（算数科）【岩江小】

また、学習指導要領の趣旨にのっとり、カリキュラム・マネジメントや社会に開かれた教育課程を重視することを通して、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性の涵養等」の資質・能力の育成を図る。

- 学びづくりサポーター派遣事業（校内研修のサポート、授業改善への指導助言、学級経営・学校経営への助言）（年間100日）
- 学びづくりコーディネーター派遣事業（各校の授業改革の推進、教職員研修の充実を図る。）（各校3回／年間）

② 児童生徒一人一人の学びが保障される環境づくり

学力調査・学習状況調査の結果を分析し、児童生徒一人一人の認知、技能面の特性や学習中の様子や家庭学習の習慣等について総合的に把握する。

児童生徒の発達段階や特性等に応じて、指導方法や指導体制に創意工夫を加え、少人数指導など一人一人に応じた学習を展開する。

また、問題解決的な学習や体験的な学びをより多く取り入れ、児童生徒が筋道を立てて論理的に考えたり、学習の成果を実感したりすることができるようにする。

児童生徒の学びが学校から家庭へ、家庭から学校へとつながり、望ましい学習習慣が身

につくよう具体的なプランを検討して、学習環境づくりを進める。

特色ある学校経営や教育活動が展開できるよう、また、各学校の学校運営上の課題や管理運営改善のために要請訪問、管理訪問を実施する。

- 令和8年度 要請訪問 I ・岩江小 ・沢石小 ・三春中
- 令和8年度 管理訪問 ・三春小 ・岩江中

③ ICTを活用した学びの充実

タブレット端末等のICT機器を積極的に活用した授業実践により、児童生徒の情報活用・処理能力を育成する。

また、情報処理能力及び論理的思考力の育成を目的として各小学校においてプログラミング学習を推進する。

各学校では、学校ICT整備事業「GIGAスクール構想」のもと、電子黒板、デジタル教科書の整備を行い、ICT活用能力やデジタルリテラシー育成のための環境整備を進める。パソコンやタブレット端末等と周辺機器及びソフトウェアの整備を図りわかる授業の充実を図る。家庭学習支援としてタブレットドリル「スタディ・サプリ」を活用し、どの児童生徒にとっても、主体的に学ぼうとすれば学べる手段があるよう環境づくりを行い、学校と家庭の学びの連続性を構築する。

④ グローバル化する社会に適応するための英語教育の充実

社会のグローバル化に適切に対応するため、児童生徒が身につけた技能を活用し外国語のコミュニケーションによる見方・考え方を発揮した学びを深める学習を進める。

小学校3・4年における外国語活動、小学校5、6年における外国語科において身につけた素地や基礎をもとに、中学校において4技能5領域の育成を目指した英語教育を推進する。

こうした英語学習の流れの中で、英語指導助手等を活用し、目的や場面・状況に応じて情報を整理しながら考える力や論理的な表現力の育成を目指す。

また、三春町国際交流協会との連携の下、異文化体験や交流を通じ、積極的に国際理解教育を進める。

- 三春町青少年国際理解教育推進事業(MJKAP)〔生涯学習課〕
 - ・三春町中学生国際理解教育プログラム・三春町小学生イングリッシュプログラム
 - ・アメリカ短期留学(中高生サマーキャンプ)※隔年実施〔令和8年実施予定〕
- 三春町中学生英語弁論大会(NPO法人三春町国際交流協会)

⑤ SDGs理解のための教育活動の推進

SDGsの理解は今後の社会発展には欠くことのできないものであるため、教育課程にSDGsの視点を取り入れながら、SDGsを意識した課題探究型学習を学校の教育活動全体を通じて推進する。

気候変動による異常気象、自然環境破壊や汚染、経済成長による格差の広がり、多発する紛争等、世界中に山積する課題は児童生徒の学びに直結するものであり、人権教育、環境教育、道徳教育、国際理解、異文化理解等をSDGs17の目標に関連付けて考えるこ

とで主体的・対話的で深い学びを実現する。

(6) 夢を育む豊かな心の育成

① 自他を理解し、豊かな心を育む道德教育の充実

学校の教育活動全体を通じて、児童生徒相互、教師と児童生徒の人間関係を深める。

「特別の教科 道德」の時間においては、道德教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、道德的価値についての理解をもとに自分自身を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める活動を通して、道德的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。教科書や各種資料などを効果的に活用し道德的实践力の伸長を図る。

家庭や地域社会との連携を深め、様々な人材との関わりによるボランティア活動や自然体験活動など豊かな体験活動を通して、内面に根ざした道德性の育成を図る。

② 三春の伝統・文化の学びを通した郷土愛の育成

郷土の自然、歴史、伝統、文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛する態度を養うことを目的として、地域と保護者との連携を図り、それらの教育力を十分に取り入れた総合的な学習の時間や道德の時間、学校行事等を意図的に設定する。

三春町のよさ・地域のよさを実感できるよう、地域の教育力を活用した特色のある教育活動と本物の自然や事象とふれあう体験活動を推進することで、児童生徒に郷土愛を育み、帰属意識や自尊感情の確立につなげる。



滝ザクラPR活動【中郷小】

〈児童生徒の学びに有効活用できる施設〉

- 三春交流館「まほら」 地区交流館
- 歴史民俗資料館 自由民権記念館 郷土人形館 文化伝承館
- 町民図書館 自然観察ステーション 三春の里
- 滝桜 城山公園 おまつり道路 神社 仏閣 碑 など

③ キャリア教育の充実

児童生徒、学校、家庭・地域の実態に応じて、特別活動の学級活動をキャリア教育の要としつつ、総合的な学習の時間や学校行事、道德科や各教科にわたる教育活動全般において、基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）を高める。



心肺蘇生法講習会【三春中】

地域の人材や事業所等の協力を得ながら、職場訪問や職場体験、上級学校訪問等の取組を積極的に推進することにより、児童生徒が主体的に自己の進路を選択する能力を高め、将来において、社会の中で自己の役割を果たしながら

自分らしい生き方を実現するための
資質・能力を育む。

(7) 特別支援教育の推進

① 『共に学び、共に生きる』インクルーシブ教育の推進

すべての幼児・児童生徒の個性や特性、教育的ニーズ等を把握し、個に応じた指導・支援を行い、その個性や特性等を生かすことができるよう努める。一人一人の多様性が尊重され、障がいをもった人がその能力等を最大限に発揮し、社会で自立して生きることを目的とし、学校においても様々な特性をもった子どもが共に学び共に生きるインクルーシブ社会の実現に向けた取組を一層推進する。

② 特性に応じたきめ細かな支援体制の構築

関係機関との連携のもと、早期発見・早期対応の体制をさらに充実させ、当該幼児・児童生徒の教育的ニーズの実現、困り感の解消を図ると共に、多様な個性を生かす教育の実現を図る。

また、障がい児の乳幼児期から義務教育終了後までを見すえ、町行政における教育・福祉の各関係機関間の連携の下、切れ目のないつながる支援体制の構築に努める。

- 三春町教育支援委員会との連携と情報共有
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画作成と活用
- 5歳児発達相談(子育て支援課との連携)、保護者との教育相談の充実
- 幼保小連携の推進(アプローチ・スタートプログラム、子育て支援課との連携)
- 小中連携、中高連携の推進(たむら支援学校・療育機関・障がい者相談支援事業所との連携)
- 特別支援教育訪問相談会の実施・充実

③ 特別支援教育環境を充実する指導・研修体制の充実

町内全ての小中学校の特別支援学級担任、特別支援介助員の研修会並びに特別支援教育研修会の公開講座化を図り、特別な支援を要する児童生徒の教育的ニーズの把握と理解、その対応について研修し、共有し合うことで、安定して個に応じた指導・支援ができるようにする。

また、県特別支援教育センターや県立特別支援学校地域支援センター等の各関係機関との連携の下、特別支援学校学習指導要領に準じて、特別支援教育の目指す方向や特別支援教育の現状等についての理解を深め、情報交換を行うと共に実態把握の在り方や支援策、つながる支援・指導等について検討する機会を設定する。

④ つながる支援のための顔の見える地域支援ネットワーク

三春町教育支援委員会との連携・情報共有、子育て支援課・保健福祉課との連携による5歳児発達相談・保護者との教育相談・障がい者支援の充実、幼稚園・保育所・小学校間の連携強化、さらには、たむら支援学校・療育機関との連携をふまえた小・中連携、中・高連携、多職種・多機関連携の推進を通し、児童生徒一人一人の顔の見える地域支援ネットワークを構築する。

(8) 教職員の資質の向上

① 教師の指導力・授業力の向上

児童生徒一人一人の学びを創出するため、教師はカリキュラムをデザインする、授業をデザインし、児童生徒の学びをコーディネートするという、学び合う場・環境・関係をつくる。子どもの学びを見取り、子どもの学びの事実から児童生徒を理解し支援する。つまり、教師は「教える」ことから「子どもの学びをつくる」ことへ授業観（指導観）を転換し、主体的・対話的で学びを推進していく。

② 子どもの学びの事実から学ぶ授業研究の推進

児童生徒の協同的な学びを促進するため、授業の一連の流れを丁寧に見取り、児童生徒の一人一人の学びを省察する。子どもの学びの事実、多くの頻度で授業の事実から学んだことを語る授業研究会に転換し、児童生徒一人一人の学びを保障する授業づくりを推進する。

③ 学習指導要領改訂をふまえた教育内容・方法の改善

小学校では令和2(2020)年度から、中学校では令和3(2021)年度から新学習指導要領が全面実施された。「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力・人間性」等を身につけ、持続可能な社会の創り手として、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する人材育成を目指すことを念頭に、『主体的・対話的で深い学び』の実現を目標として指導内容や方法の改善を推進する。



学びの発信「はばたけ三春っ子」【三春小】

④ 教職員の働き方改革

子どもたちが安心して学べる環境づくりや保護者が信頼して子どもを預けられる環境づくりには、教職員自らが様々な経験をして自己研鑽する時間と教職員が子どもとじっくりと向き合う時間の確保が必要である。

教職員が自ら学び、児童生徒と向き合う時間を確保するため、校務支援システムの活用等により働き方を改革し、長時間勤務を改善する。それにより、学校のチーム力や教員の指導力を最大化し、豊かな教育環境の形成をめざす。

(9) 一人一人の個性を生かす環境づくり

① 生徒指導体制の充実

中学校区ごとの小中連携会議を活用して、児童生徒の情報交換、問題行動やいじめ等の早期発見・早期対応を図り、偏見や差別、いじめの根絶を図る。

町当局や警察、児童相談所等との積極的な連携を図り、いじめや不登校児童生徒の対応について、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した具体的な対策を推進する。

② 個別の支援強化

不登校児童生徒に寄り添い、一人一人に応じた問題の改善や解決を図るため、学びの

支援センター『あこがれ教室』等、不登校児童生徒の居場所づくりを進め、教育の機会の確保と教育機会の均等化を図る。

また、特別な支援を要する児童生徒や様々な課題を抱える児童生徒への対応に、専門職として、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用し、教師や保護者と共に「チーム学校」を機能させる。課題解決のための組織的な対応ときめ細かな指導を推進する。

③ 教育相談体制の充実

いじめ、集団生活への不適應、学習の遅れ、人間関係、L G B T等、個人の特性やその他多様化している児童生徒の悩みや問題行動等の解決のため、改訂された「生徒指導提要」の精神の下、教職員のカウンセリング能力の向上や生徒指導体制、教育相談体制の充実を図る。また、スクールロイヤー、児童相談所、警察、町当局等、関係機関と多職種・多機関連携を図りながら、組織的な支援体制づくりを推進する。

④ いじめの未然防止・早期発見・早期対応

保護者、地域及び関係機関との連携を図りながら、いじめを許さない環境づくりと未然防止、人権意識の向上等に努める。

いじめ防止のための取組を総合的に推進するため、「三春町いじめ防止基本方針」に基づき、実効性と責任ある対応体制を確立する。各小中学校では、「特別の教科 道徳」の授業を中心に、自他の生命と人権を保障する観点からいじめについて考えるなど、いじめ防止に向けた多面的・多角的な取組を推進する。

(10) つながる教育の推進

① こども園・保育所と小学校の連携推進

こども園・保育所等が、それぞれに有する特性を生かし、就学前の幼児教育、保育の場として一人一人の幼児の成長を支える環境づくりを進める。

就学にあたっては、こども園・保育所等で「アプローチカリキュラム」を推進し、小学校入学に対する不安解消と意欲の喚起に努める。

また、各小学校においては、「スタートカリキュラム」を推進し、学習や学校生活に関して一人一人に応じたきめ細かな支援を進め、小学校生活へのソフトランディング、小1プロブレムの解消を目指す。

② 小中連携・中高連携の具体的な取組の推進

2つの中学校区を単位とし、児童生徒の理解や学力向上を進めるために、小中学校が連携して具体的な指導内容・方法等について話し合い、各学校で実践する連携教育を進める。児童生徒一人一人の個性や特性等を理解し、9か年のスパンで成長が図られるよう連携を強化すると共に、中1ギャップの解消を目指す。

また、中高連携についても具体的な取組を進める。中学校の全ての生徒を対象とした高校説明会を行い、早い時期から自分の進路選択を考えることにより将来に対する具体的なビジョンをもつことができるようにする。

特に、小中学校と県立田村高等学校との連携を強化し、文化、スポーツ等での連携を

進めることで、知識・技能を効果的に身につけると共に、積極的な交流を図る。町内にある高校にあこがれをもち、幼少期から高校生までを三春町で健やかに成長する児童生徒を増やす。

③ 関係機関と連携した特色ある学校づくり

地域住民による教育参加を目指す三春町では、すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、学校の活性化と地域の教育力向上を目指す。すべての小中学校が地域の実態に応じた特色ある学校づくりを進めることができるように、学校のニーズを把握し、積極的な支援に努める。

(11) 三春の教育推進

① 学校経営懇談会（三春町校長会議）

「三春の教育」の推進・周知・理解を図ると共に、今日的な教育課題や学校経営の諸問題等について協議を行い、地域と共にある、特色ある学校経営を目指す。

② 三春町教頭会議

「三春の教育」の推進・周知・理解を図ると共に、学校経営上の諸課題について協議を行い、校長を補佐し、校務の円滑な推進を目指すと共に、学校経営を補佐するに足る資質・能力の向上を図る。

③ 学校教育研究員会

「三春の教育の創造」をテーマに、これまでの「三春の教育」を振り返りつつ、時代・社会に則した「三春の教育」のあり様を追及すべく実践研究に取り組み、普及を図る。

④ 学力向上推進委員会

学力向上にむけて、諸学力テストの分析により自校、本町の児童生徒の課題を明確にし、具体的な対策等を講じることで、授業改善につなげ、教育活動の充実を図る。

⑤ 英語指導担当者会（英語担当教師、ALT）

英語指導助手との連携により、小中学校の英語教育の充実を目指す。また、岩江こども園、保育所への英語指導助手の派遣を通して、国際理解教育やグローバル化教育の推進に努める。

2 学校教育グループ所管委員会

【三春町いじめ問題対策連絡協議会】

- いじめ防止等のための対策について、保護者、町民等及び関係機関等との連携を図る。

（任期 令和8年6月26日～令和9年3月31日）

須藤 悠大	杉本 和也	橋本 和子	佐藤 知巨	細川 千鶴
松崎 浩仲	橋本 和宜			

2 学年別児童生徒数一覧（R8.5.1 現在）

(1) 町立小学校6校 普通学級 38（対前年比±0） 特別支援 14 学級（±0） 全児童数 757 名（-9）

学 校 名		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
三 春 小	児童数	55 (1)	46 (2)	61 (8)	51 (2)	45 (3)	54 (7)	(23)	312
	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16
岩 江 小	児童数	39 (4)	31 (5)	37 (4)	56 (4)	46 (3)	55 (5)	(25)	264
	学級数	2	1	1	2	2	2	4	14
御木沢小	児童数	12	14 (2)	10 (1)	20	12 (1)	13 (1)	(5)	81
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中 妻 小	児童数	5	9 (2)	4	11 (2)	11 (1)	6 (1)	(6)	46
	学級数	1	1		1	1		2	6
中 郷 小	児童数	1	2	4	3	9	3	(0)	22
	学級数	1		1		1		0	3
沢 石 小	児童数	4 (1)	4	2	3	9 (2)	10 (2)	(5)	32
	学級数	1		1		1		2	5
合 計	児童数	116 (6)	106 (11)	118 (13)	144 (8)	132 (10)	141 (16)	(64)	757
	学級数	8	5	6	6	8	5	14	52

※()は特別支援学級児童の内数 ※複式学級は下の学年で計上

(2) 町立中学校2校 普通 15 学級（対前年比+1） 特別支援 4 学級（-1） 全生徒数 404 名（-1）

学 校 名		1 年	2 年	3 年	特別支援	計
三 春 中	生徒数	87 (3)	97 (5)	99 (5)	(13)	283
	学級数	3	3	3	3	12
岩 江 中	生徒数	38 (2)	38 (1)	45 (4)	(7)	121
	学級数	2	2	2	1	7
合 計	生徒数	125 (5)	135 (6)	144 (9)	(20)	404
	学級数	5	5	5	4	19

※()は特別支援学級児童の内数

3 令和9年度以降入学児童推定表（R8.5.1 現在）

学 校 名		9 年 度	10 年 度	11 年 度	12 年 度	13 年 度	14 年 度	備 考
三 春 小	児童数	49	45	38	38	38	24	
	学級数	2	2	2	2	2	1	
岩 江 小	児童数	28	37	34	22	23	17	
	学級数	1	2	2	1	1	1	
御木沢小	児童数	16	12	12	11	10	7	
	学級数	1	1	1	1	1	1	
沢 石 小	児童数	2						令和9年度末 閉校
	学級数	1						
合 計	児童数	95	94	84	71	71	48	
	学級数	5	5	5	4	4	3	

※学級数は30人学級による。

4 学校施設の概要（R8.5.1 現在）

（単位：㎡）

No.	学 校 名	学 校 用 地		校 舎 等				
		全体面積	内運動場	校 舎	体育館	給食室	食堂	プール
1	三 春 小	21,234	9,430	5,493	1,493	150	-	有
2	岩 江 小	21,359	6,939	3,913	1,221	117	125	有
3	御 木 沢 小	39,646	11,503	1,554	995	-	-	有
4	中 妻 小	24,012	8,455	1,516	590	-	-	使用不可により中郷小プールを使用
5	中 郷 小	54,631	10,349	2,335	872	-	-	有
6	沢 石 小	28,176	6,847	2,007	981	-	169	有
小学校 計		189,058	53,523	16,818	6,152	267	294	
7	三 春 中	19,365	8,800	8,058	1,711	313	284	町民プールを使用
8	岩 江 中	49,951	17,118	3,378	1,024	130	225	有
中学校 計		69,316	25,918	11,436	2,735	443	509	
12	沢石共同調理場	-	-	-	-	126	-	-
13	さくら共同調理場	-	-	-	-	116	-	-
合 計		258,374	79,441	28,254	8,887	952	803	